

令和4年度
長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修
(高等学校) 実施細目

- 目 次 -

1	目的	1
2	研修対象	1
3	実施時期	1
4	未受講者の取扱い	1
5	延期、変更等	1
6	研修の概要	2
7	評価	2
8	実施計画書と実施報告書	3
9	配慮事項等	3
10	各種研修の内容	3 ~ 5
○別紙	6 ~ 10
別紙 1	関係文書提出期限一覧	6
別紙 2	【記入例】研修実施計画書・報告書	7
別紙 3	選択研修一覧	8 ~ 9
別紙 4	【記入例】経年研修受講調査.....	10
○様式集	巻末

1 目的

長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（高等学校）（以下、「中堅教諭等研修」という。）は、県立高等学校の教諭等として在職期間が11年目の者に対して、能力・適性等に応じた研修を実施し、ミドルリーダーに求められる資質の向上を図ることを目的とする。

2 研修対象

中堅教諭等資質向上研修の対象者は、本務経験11年目の教諭等（以下「中堅教諭等」という。）とする。

3 実施時期

（1）実施期間

県教育センターで実施する全体研修の実施をもって開始し、原則として翌年1月末までに全ての研修を終了する。

（2）実施日

原則として勤務日とする。

4 未受講者の取扱い

何らかの理由で過年度までに中堅教諭等研修を受講していない中堅教諭等は、今年度受講する。

5 延期、変更等

（1）翌年度以降に延期する場合

翌年度以降に延期する者については、受講延期届（様式5）を令和4年4月12日（火）までに県教育センターに提出する。なお、病気休暇、育児休暇、短時間勤務等で受講延期が複数年にわたる場合は、年度ごとに提出する。

（2）予定していた研修を受講できなくなった場合

やむを得ず予定していた研修を受講できない事態が生じた場合は、管理職員が県教育センター教科・経営研修課へ報告し、受講延期届（様式5）または受講変更届（様式6）を提出する。

（3）当日の欠席、遅刻

当日の欠席、遅刻については、管理職員が県教育センター教科・経営研修課へ報告する。

- ・欠席の場合...電話で報告し、欠席届を提出する。
- ・遅刻の場合...電話で報告し、遅刻届を提出する。

（欠席届、遅刻届については、県教育センターWebサイトよりダウンロードして作成）

6 研修の概要

項目		日数	内容
センター研修	全体研修	1 日	幅広い見識を養う研修を行い、ミドルリーダーとしての資質向上を図るとともに、研修全般のガイダンスを行う。 対象) 教諭等、実習助手、養護教諭
	校種別研修	2 日	学習指導等において、ミドルリーダーに求められる実践的な指導力の育成を図る校種別研修を行う。 対象) 教諭等
	選択研修	1 講座	各受講者に応じた資質の向上を図る選択研修を行う。 対象) 教諭等、実習助手
校内研修	教科研修	1 回	所属校において、自己の課題に応じた研究授業及び授業研究会を 1 回実施する。 対象) 教諭等
	メンター研修	年間	「メンター研修実施要領」を参照すること。 対象) 教諭等、実習助手
社会体験研修		3 日	「社会体験研修実施要領」を参照すること。 対象) 教諭等

教諭等とは、「教諭、助教諭及び常勤講師（臨時的任用及び任期付任用を除く。）」

養護教諭については、体育保健課の実施要項で確認すること。

センター研修の講座形態について

集 合 型：教育センターにおいて、研修期日に受講する研修

ハイブリッド型：集合型とオンデマンド型を組み合わせた研修

リアルタイム型：所属校等において、研修期日に教育センターとオンラインでつなぎ、リアルタイムで受講する研修

オンデマンド型：所属校等において、期間内に教育センターが配信する動画を視聴して受講する研修

7 評価

(1) 事前評価

中堅教諭等（実習助手も含む）は指標（第 2 ステージ）を参考に、事前に中堅教諭等資質向上研修（高等学校）自己評価票（様式 2）（以下、「自己評価票」という。）を作成する。所属校の校長は、自己評価票をもとに指標を参考にして次の 4 段階で評価し、評価票（様式 3）の 1 を作成する。

段階	評 価 の 目 安
4	中堅教諭等として、十分満足できる。
3	中堅教諭等として、おおむね満足できる。
2	中堅教諭等として、あまり満足できない。
1	中堅教諭等として、満足できない。

特記事項

評価の根拠となる事由や、参考となる事実があれば記入する。

作成上の留意点

次年度の対象者が異動となった場合、対象者の事前評価が適切に行えるよう、異動先の校長と十分な連携を図る。

(2) 事後評価

中堅教諭等（実習助手も含む）は、自己評価票（様式 2）を作成する。所属校の校長は、全ての研修終了後、様式 2 の自己評価票をもとに各中堅教諭等の評価票（様式 3）の 2、3、4 を作成し、中堅教諭等の今後の研修や指導等に生かす。評価の段階は（1）に準じる。

(3) 提出

作成した評価票（様式 3）は、令和 5 年 2 月 3 日（金）までに、県教育センターに電子メールにより提出する。暗号化等の指示については、別途連絡する。

8 実施計画書と実施報告書

(1) 実施計画書

作成

校長は、関係研修機関等の実施計画等に基づき、各中堅教諭等の実施計画書（様式 4）を作成し、計画書に基づき年間の研修を実施する。

改善

校長は、実施の進展に応じて研修実施計画等について、適時、必要な改善を行うことができる。

(2) 実施報告書

作成

校長は、全ての研修終了後、各中堅教諭等の実施報告書（様式 4）を作成する。

提出

作成した研修実施報告書は、令和 5 年 2 月 3 日（金）までに、県教育センターに電子メールにより提出する。

実習助手の研修対象外の項目欄については、斜線を引いた上で提出する。

9 配慮事項等

(1) 能力・適性等の評価

校長は、評価項目に沿って中堅教諭等の事前評価票を作成する際、副校長・教頭・各主任等を活用する。

校長は、事前評価票及び研修計画を作成する際、中堅教諭等の自己評価や意見・希望等を聴取する。

校長は、事前評価を必要に応じて中堅教諭等に示すなどして、中堅教諭等の研修に取り組む意欲を高める。

(2) その他

研修内容は、各中堅教諭等が能力や適性に応じて自主的に研修を計画し、取組めるよう工夫する。
この細目に定めるものの他、必要な事項は別途定める。

10 各種研修の内容

(1) センター研修（全体研修）＜ 1 日 ＞

職種	講座番号	研 修 講 座 名	期 日
教諭等	セ 5	【リアルタイム型】 公立学校中堅教諭等資質向上研修（全体研修）	4/28（木）
実習助手			

(2) センター研修（校種別研修）＜ 2 日 ＞

職 種		講座番号	研 修 講 座 名	期 日
教諭等		セ 4 6	【ハイブリッド型】	8/18（木）
			県立高等学校中堅教諭等資質向上研修(校種別研修)	8/19（金）
備 考	水産、書道等は、県教育センターで開設できない場合や異なる日程になる場合がある。			

(3) センター研修(選択研修)<1 講座>

目的

中堅教諭等が、自ら設定したテーマによる研修を通して、教員としての自己の資質の向上を図る。

内容

選択研修は、教育センターで行われる研修講座を受講することが望ましいが、教育センター以外で行われる研修等を選択研修としてよい。

ア 教育センターで行われる研修講座

別紙3を参考にすること。

イ 教育センター以外で行われる研修等

- ・異校種体験研修
- ・文部科学省あるいは、県教育委員会の研究指定にかかわる発表会等(原則として県内での開催に限る)の参加と校内における報告
- ・長崎県高等学校・特別支援学校教育研究会の「各教科等別研究部」や「領域別研究部」が主催する各種教育研究大会への参加と校内における報告
- ・免許状更新講習
- ・その他、県教育委員会が認める研修

教育センターで行われる研修の受講について

ア 経年研修受講調査【中堅研】(様式1)に必要な事項を記入し、該当者の有無にかかわらず令和4年4月12日(火)までに、県教育センターにメールにより提出する。メール送信先等は別紙1を参考にすること。

イ 経年研修受講調査【中堅研】(様式1)の記入については次の点に留意し、別紙4を参考にすること。

- ・別紙3の中から受講を希望する順に第3希望まで記入する。
- ・保健体育科の教員は、別紙3記載の体育保健課主管の講座から選択してもよい。
- ・講座内容の詳細は「令和4年度研修講座案内」(県教育センターWebサイト)を参照する。
- ・教科や職種によっては受講できない講座があるので、県教育センターWebサイトの「研修講座単票」で受講の可否について確認すること。

ウ 提出された経年研修受講調査【中堅研】(様式1)をもとに、県教育センターが受講講座を調整し、校長に通知する。(講座の適正人数、定員等の都合により、第1希望にならない場合がある。)

- ・決定通知に記載している県教育センター主管の講座については、受講申込みを行う必要はない。ただし、体育保健課主管の各講座については、別途体育保健課へ受講申込みをする必要がある。

エ 通知後、やむを得ず変更が生じた場合は、県教育センターに連絡・相談する。変更決定後は、速やかに受講変更届(様式6)を県教育センターにメールにより提出する。その提出をもって、受講講座の決定とする。

オ 選択方法等について不明な点は、県教育センター教科・経営研修課に問い合わせる。

カ 調査票提出から受講までの流れ

調査票	各学校	県教育センター	4月12日（火）まで
決定通知	県教育センター	各学校	4月下旬～5月上旬
受講準備	県教育センター主管の講座について 県教育センターWebサイトから実施要項等（実施月の1か月前の月初めにアップ）をダウンロードして指示に従う。 体育保健課主管の講座について 体育保健課から各学校へ送付される実施要項の指示に従う。		
受講	指定された各会場にて受講する。		

（４）校内研修（教科研修）＜１回＞

- ア 所属校において１回の研究授業及び授業研究を実施する。可能な限り、他教科も参加して行う。
- イ 授業研究では研究授業の内容にとどまらず、よりよい指導の在り方について共同で研究する。
- ウ 近隣の中学校にも公開し、合同で授業研究を実施することが望ましい。

（５）校内研修（メンター研修）＜通年＞

「メンター研修実施要領」を参照すること。

（６）社会体験研修＜３日＞

「社会体験研修実施要領」を参照すること。

関係文書提出期限一覧

	関係文書名	使用様式	提出期限	提出方法	備考
1	経年研修受講調査【中堅研】	様式 1	令和 4 年 4 月 1 2 日（火）	電子メール	公印、鑑は 不要
2	評価票	様式 3	令和 5 年 2 月 3 日（金）		
3	研修実施報告書	様式 4	令和 5 年 2 月 3 日（金）		
4	受講延期届	様式 5	受講できない事態が生じた場合に提出		
5	受講変更届	様式 6	変更の事態が生じた場合に提出		

送 信 先：npec-koukou@pref.nagasaki.lg.jp（「lg」はエルジー）

今年度から送信先を変更しているので注意すること

件 名：【中堅研】 関係文書名（所属名）

ファイル名：関係文書名（所属名）

様式 3（評価票）の提出については、別途、パスワード等を電子メールで管理職に通知する。

【 記 入 例 】

中堅教諭等資質向上研修（高等学校） 研修実施計画書・報告書

所属校名	
中堅教諭等 職・氏名	

(1) センター研修（全体研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
R4.4.28	1	教育センター	教職員の服務と心構え 研修の進め方 消費者教育 ミドルリーダー 教職員のためのメンタルヘルス

(2) センター研修（校種別研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
R4.8.18 R4.8.19	2	教育センター	特別支援教育（事例研究） カリキュラム・マネジメントについて 学習指導研修 学習指導要領の分析 教材開発・教材研究の進め方

(3) センター研修（選択研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
R4.6.27 R4.12.2	2	教育センター	思考力・判断力・表現力を育む教科指導研修講座

(4) 社会体験研修

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容
R4.8.2 ～ R4.8.4	3	銀行	講話「企業が求める人材」 見学研修 現場実習

(5) 校内研修（教科研修）

研修月日	日数	研修場所	研修項目	研 修 内 容	参加者・指導者
R4.9.21	1	校 内		研究授業 授業研究	教科10名
...

(6) 校内研修（メンター研修）

メンター研修における取組内容

研修月日	対象とした教員	研 修 内 容
R4.5.10	2 年目教員	○学級経営 ○学級 P T A の運営について
R4.9.15	3 年目教員（数学科）	○進学（就職）検討会の実施について ○定期考査の実施と評価について

枠の数（行数）は自由に変更して記入してよい。

別紙3 教育センターで行われる研修講座

【県教育センター会場】

職種欄の○は、その職種が研修講座として選択可能であることを示す。

教：教諭等 実：実習助手

セ27とセ88は併せて選択すること。

教科や職種によっては受講できない講座があるので、県教育センターWebサイトの「研修講座単票」で受講の可否について確認をすること。

講座番号	講座形態	研 修 講 座 名	期 日	職 種	
				教	実
セ27	集合	思考力・判断力・表現力を育む教科指導研修講座 ＜継続 前期＞	6/27(月)		
セ34	ハイブリッド	学校カウンセリング研修講座	7/13(水)		
セ42	ハイブリッド	実践につなげる不登校の予防と対応研修講座	8/5(金)		
セ48	集合	初心者のための和楽器研修講座	8/22(月)		
セ51	リアルタイム	いじめの予防と対応研修講座	9/15(木) -9/16(金)		
セ52	リアルタイム	いじめの予防と対応研修講座 (1日コース)	9/15(木)		
セ53	リアルタイム	全校種対象「キャリア教育入門」研修講座	9/22(木)		
セ57	ハイブリッド	中学校美術科・高校芸術科(美術)造形的な見方・ 考え方を働かせる授業づくり」研修講座	9/28(水) -9/29(木)		
セ59	集合	中学校音楽科・高校芸術科(音楽)授業力アップ 研修講座	9/29(木)		
セ62	ハイブリッド	自立活動の指導基礎研修講座	10/3(月)		
セ64	集合	環境教育研修講座	10/6(木) -10/7(金)		
セ65	ハイブリッド	中学校技術・家庭科、高校家庭科教育研修講座	10/7(金)		
セ74	ハイブリッド	情報モラル教育研修講座	10/28(金)		
セ75	ハイブリッド	共通教科「情報」研修講座	10/31(月)		
セ83	集合	高校産業教育研修講座	11/22(火)		
セ88	リアルタイム	思考力・判断力・表現力を育む教科指導研修講座 ＜継続-後期＞	12/2(金)		
セ89	ハイブリッド	SNSトラブルの予防と対応研修講座	12/7(水)		

講座番号	講座形態	研 修 講 座 名	期 日	職 種	
				教	実
セ 218	オンデマンド	1人1台端末活用基礎<Office365>研修講座 (7~10月)	7/15(金) -10/31(月)		
セ 219	オンデマンド	1人1台端末活用基礎<Office365>研修講座 (11~1月)	11/1(火) -1/31(火)		
セ 220	オンデマンド	1人1台端末活用基礎<Google Workspace for Education>研修講座(7~10月)	7/15(金) -10/31(月)		
セ 221	オンデマンド	1人1台端末活用基礎<Google Workspace for Education>研修講座(11~1月)	11/1(火) -1/31(火)		
セ 222	オンデマンド	校務ICT化のためのExcel基礎研修講座 (8~10月)	8/1(月) -10/31(月)		
セ 223	オンデマンド	校務ICT化のためのExcel基礎研修講座 (11~1月)	11/1(火) -1/31(火)		
セ 224	オンデマンド	校務ICT化のためのExcel応用研修講座 (8~10月)	8/1(月) -10/31(月)		
セ 225	オンデマンド	校務ICT化のためのExcel応用研修講座 (11~1月)	11/1(火) -1/31(火)		

○体育保健課主管の学校体育関係講座及び健康教育関係講座

講座番号	講座形態	研 修 講 座 名	実施日	職 種	
				教	
体保 6	リアルタイム	学校給食(食に関する指導・衛生管理)研修会	6/17(金)		
体保 9	集合	体育・保健体育指導力向上セミナー	10/5(水)		
体保 10	集合	柔道指導者研修会	10/20(木)		
体保 11	集合	剣道指導者研修会	11/17(木)		
体保 12	集合	表現・ダンス指導者研修会	12/7(水)		

様式 1 令和 4 年度 経年研修受講調査【中堅研】

学校番号 (999)

番号	所属	氏名	職員番号	職種	受講可否	選択研修				<備考欄> ・受講できない理由（期間も記入） ・改姓等	延期している研修内容			
						センターで行われる研修			センター以外の研修		集合研修	選択 研修 別	校内研修	社会体 メン ター
						第1希望 講座番号：講座名	第2希望 講座番号：講座名	第3希望 講座番号：講座名						
1	センター高校	玖島 太郎	10001	教諭		セ27・88：思・判・表	セ34：学校カウンセリング	セ89：SNS						
2	センター高校	長崎 町男	10002	教諭					異校種体験研修					
3	センター高校	尾上 花子	10003	教諭	×					R3は一部未受講 R3.8～R5.3：育児休暇	○			○
4	センター高校	大村 桜子	10004	教諭		体保9：指導力向上	体保12：ダンス	体保6：学校給食		令和3年度に部活動全国大会引率のため一部未受 講				
5	センター高校	山田 次郎	10005	実習助手		セ83：高校産業教育	セ42：不登校	セ218：福祉活用365(7～10月)						

<記入方法・留意点>

【中堅研の該当者がいない場合】

氏名欄に「該当者なし」と記入して、提出すること。

【今年度の受講対象者 (過年度の受講対象者で休暇等の理由により中堅研をすべて受講していない者も含む) で、
4 月の全体研修から今年度行われるすべての中堅研を受講する場合】

選択研修の第 3 希望までを記入する。

【選択研修について、教育センター以外で行われる研修等を受講する予定の場合】

予定の研修を記入する。教育センター以外で行われる研修については、中堅研の実施細目 P 4 を参照すること。

【事情により 4 月に行われる「セ 5 公立学校中堅教諭等資質向上研修」を受講できない場合】

令和 4 年度の中堅研については、すべて延期となる。期間、理由を記入する。

令和 4 年度の 8 月以降に行われる研修のみを受講することはできない。

【過年度の受講対象者で、事情により一部の研修を受講していない場合】

未受講年度、理由、延期している研修内容 (終了していないものに) を記入する。

詳細については、中堅教諭等資質向上研修実施細目で確認すること。

令和4年度 長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（高等学校）様式集

様式1	経年研修受講調査【中堅研】
様式2	自己評価票
様式3	評価票（事前評価・事後評価）
様式4	研修実施計画書・報告書
様式5	受講延期届
様式6	受講変更届

様式 2

中堅教諭等資質向上研修（高等学校） 自己評価票

研修者氏名（ ）

視 点		事前評価	事後評価
教職に必要な素養	①法令遵守の精神を踏まえ、自ら範を示すとともに児童生徒に指導することができる		
	②人権尊重に基づいた児童生徒理解をし、指導するとともに、学校の人権教育推進のために行動することができる		
	③学年（学校）で生じている課題を把握し、管理職・同僚に相談しながら解決に向けて行動することができる		
	④教育公務員としての自覚のもと、児童生徒への教育的愛情と学び続ける意欲をもち、組織を牽引する働きができる		
	⑤長崎県の特徴を理解し、そのよさを児童生徒たちに伝えとともに、自分たちが住んでいる地域のよさや課題について取り上げることができる		
学校運営 連携・協働	①学校教育目標を理解するとともに、学級経営、教科経営及び学年経営等の方針を策定し、同僚性や協働性を発揮しながら、積極的に実践することができる		
	②保護者、地域、関係機関等と積極的に関わり、地域とともにある学校の核として、連携・協働した対応をすることができる		
	③危機を予測した未然防止の取組と、危機を察知した際の迅速な連絡ができる		
教育課程 学習指導	①担当する教科等に関する専門的知識を身に付け、指導に生かすことができる		
	②カリキュラム・マネジメントの考え方を生かし、地域の人材等を活用するなどして、学習指導要領及び児童生徒の実態に基づいた指導計画を作成し、深い学びの実現を図る単元や授業の組み立てを工夫することができる		
	③児童生徒の特性を理解し、教科等の見方・考え方を生かすなどして、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を展開することができる		
学級経営 児童生徒理解 生徒指導 等	①学年全体の児童生徒の実態を把握し、より望ましい集団づくりを組織的に進めることができる		
	②教育相談や日常の観察を通して、児童生徒の気持ちや行動の背景を理解することができる		
	③個々の児童生徒の状況を理解し、同僚と協力しながら、状況に応じた適切な指導や支援をすることができる		
	④キャリア教育の視点をもって、児童生徒の夢や憧れ、志を育む学習や体験を深化させることができる		
特別支援教育	①個々の障害に対して適切に対応するとともに、特別支援教育の理念や意義を全体の教育に反映させることができる		

※評価は実施細目に定めた基準で、4、3、2、1のいずれかを記入する

学校番号	
------	--

様式 4

中堅教諭等資質向上研修（高等学校） 研修実施計画書・報告書

所属校名	
中堅教諭等 職・氏名	

(1) センター研修（全体研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

(2) センター研修（校種別研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

(3) センター研修（選択研修）

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

(4) 社会体験研修

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容

※「事業所等における研修」「地域と連携した研修」のどちらを実施したかわかるように記入すること

(5) 校内研修 (教科研修)

研修月日	日数	研修場所	研 修 内 容	参加者・指導者

(6) 校内研修 (メンター研修)

メンター研修における取組内容

研修月日	対象とした教員	研 修 内 容

※枠の数（行数）は自由に変更して記入してよい。

メンター研修の成果と課題

--

(7) 社会体験研修の成果と課題

--

※対象の研修についてすべて記入すること

令和 年 月 日
県立 学校
校長名
(公印省略)

学校番号	
------	--

様式 5

文 書 番 号
令和 年 月 日

教育センター所長 様

学校名

校長名

(公印省略)

令和 4 年度 長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修（高等学校）受講延期届

下記のとおり、受講を延期することを報告します。

記

1 受講者の職名・氏名・職員番号

職 名	氏 名	職 員 番 号

2 延期対象講座（あてはまる研修を■にする。選択研修が決定している場合は講座名を記入する。）

<input type="checkbox"/> 全ての研修	
<input type="checkbox"/> 校種別研修	
<input type="checkbox"/> 選択研修	講座名
<input type="checkbox"/> 校内研修	
<input type="checkbox"/> 社会体験研修	

3 受講予定年度

--

4 延 期 の 理 由

--

様式 6

令和 年 月 日

教育センター所長 様

学校名
校長名

(公印省略)

令和 4 年度 長崎県公立学校中堅教諭等資質向上研修「教育センター研修」受講変更届

以下のとおり、受講講座の変更について報告します。

1 受講者の職名・氏名・職員番号

職 名	氏 名	職 員 番 号

2 受講変更の内容

[変更前]

講座番号	
講 座 名	
期 日	

↓

[変更後]

講座番号	
講 座 名	
期 日	

3 変更の理由